

14 課「イベント・行事」

<行動目標>

周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる。

<2つのスモールトピック>

ST 1 「私の国の行事」

国の行事や行事に関することについて、簡単に説明したり聞いたりすることができる。

ST 2 「贈り物の習慣」

贈り物の習慣や相手の好みに配慮して、プレゼントの相談をすることができる。

話してみよう

『できる日本語初中級』の14課のテーマは「イベント・行事」です。日本での生活の中で、目にする光景が学習者にとって見たことがなかったものもあるかもしれません。そんなとき、周りの人とのやり取りから、自分の国の行事やイベントを紹介するきっかけにつながったらいと思います。

【話してみよう】では、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。初中級では2枚のイラストと1枚の写真になっています。どのイラスト、写真を使うかは学習者に合わせて選んでください。全部使う必要はありません。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

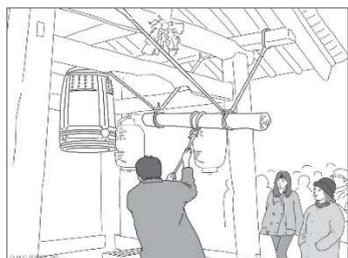
質問例



- ・ここはどこだと思いますか。
- ・何をしていますと思いますか。
- ・見たことがありますか。
- ・国の卒業式ではどんなことをしますか。
- ・どんな服を着ますか。



- これは何だと思えますか。
どこで見ましたか。
- 国でお金をあげる習慣がありますか。
どんなときにあげますか。



- ここはどこだと思えますか。
何月だと思えますか。
- 新しい年が来る前に、何か特別なことをしますか。

イラストを見ながら、見たことがあるかなどを聞いてみてください。イラストから自分の国ではどんな習慣があるかを話したくなる学習者がいるかもしれないので、イラストをきっかけに学習者の経験を引き出して、話を聞いてみてください。きっといろいろな話が聞けるとおもいます。

【話してみよう】のねらいは、テーマに学習者を引き付けることと、それまでに学んだ日本語を用いて話すことにあります。教師は学習者が話せるように促したり、他の学習者に質問をしてもらったりしてください。

聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、音声を聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。既習の学習項目や語彙が増えていることや効果音が使われていることから、どんな状況かがつかめるとおもいます。

ST1 私の国の行事

できること：国の行事や行事に関することについて、簡単に説明したり聞いた
りすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：木村さんとナタポンさんは喫茶店にいます。ナタポンさんは窓越しに見える着物を着た子どもに気が付いて、木村さんに質問をします。



1



コマイラスト：ナタポンさんは着物を着ている子どもが多くいるのを疑問に思い、木村さんに質問をします。木村さんは今日は七五三だからだと答えましたが、ナタポンさんにとっては、七五三という言葉は初めて聞く言葉だったので木村さんに聞き返しています。

学習項目 って何ですか

チャレンジ！

2



コマイラスト：木村さんが七五三の意味をナタポンさんに説明しています。

ここでの【チャレンジ!】は、**1**の会話からの続きなので、ぜひ前のイラストからチャレンジをしてください。

学習項目 N というのは～

言ってみよう **別冊2**

ここに出てくる新出語彙は、日本の行事などに関連した固有名詞が多いので、写真や実物などを用いながら、練習を行うといいと思います。⑦では、学習者の自分の国の行事や物などについて言ってもらおうといいです。

言ってみよう **本冊1 2**

教科書に挙げられている例のほかにも、学習者の国の行事を紹介してもらおうこともできると思います。

チャレンジ!

3



コマイラスト: ナタポンさんは「しちごさん」の名前の由来を知りたいと思い、木村さんに続けて質問をしています。木村さんは七五三の由来を紹介しています。

昔から言われていることや習慣などを紹介するとき、「～と言われています」を用いています。

学習項目 ～と言われています

言ってみよう **別冊3**

「～と言われています」の「～」の部分は普通形が使われます。

言ってみよう **本冊3**

チャレンジ！

4-1



コマイラスト：木村さんはナタポンさんにタイにも七五三のような行事があるかを聞いています。ナタポンさんはタイの行事を木村さんに紹介しています。

相手が知らない物を紹介するときに、この「NのようなN」を用いて、相手知っている物を用いてそれと似ている物というように伝えることができます。「NのようなN」では、最初に具体的な名詞を用いて、後者の名詞に前者の名詞を含む上位概念を表す名詞が使われます。

学習項目 NのようなN

言ってみよう 別冊4

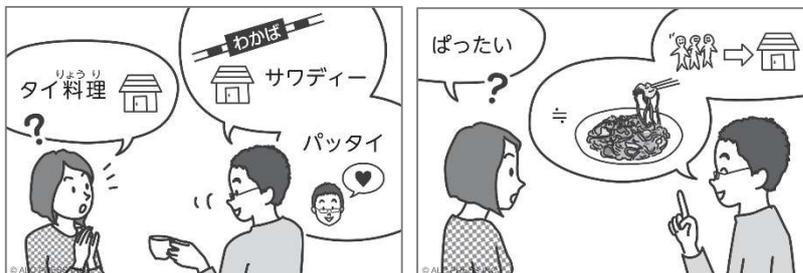
別冊の練習では、基本、単文の練習ですが、ここではABのやり取りの練習になっています。1 2で練習したことを用いた練習になっているので、復習にもなります。別冊に挙げられているキューだけではなく、学習者の国や地域に合わせたキューを用意していくと盛り上がります。例えば、「バラライカ」（ロシアの弦楽器）や「キョフテ」（トルコのハンバーグのような料理）など学習者の国地域の写真を用意してクラスで見せると、自然に発話を促すことができます。

言ってみよう 本冊4-1

Bは になっていて、学習者の国、町に似ている行事やスポーツ、遊びなどがあるか話してもらってください。他にも「剣道のようなスポーツ」「おせち料理のような特別な料理」「じゃんけんのような遊び」など学習者のレベルや好みに合わせてキューを増やしてもいいと思います。

チャレンジ!

4-2



コマイラスト：タイの話聞いた木村さんは、ナタポンさんにおいしいタイ料理の店を聞きましました。ナタポンさんは自分が知っているお店を紹介し、その店でおいしい料理について話しています。

学習項目 N のような N

言ってみよう 本冊4-2

その物を食べたことがない人に分かるように説明するのは難しいと思いますが、このように「N のような N」を使うと、分かりやすく説明ができるということを学習者が実感できるといいですね。キュー以外にも学習者から国、町の料理名を出してもらって、どのような料理か紹介してもらおうと楽しく勉強できると思います。

もし勉強している地域に、学習者のふるさとの料理が食べられるレストランがあったら、実際にクラスメイトを誘い合ってそれぞれの国町の料理を一緒に食べに行けるとお互いをより知る機会になると思います。

やってみよう

ST1 の「できること」は、「国の行事や行事に関することについて、簡単に説明したり聞いたりすることができる」です。

🔊 音声の内容は「冬至」「おくんち」です。聞くときや聞いたあとに写真などで情報を補足するといいです。「おくんち」は動画で見ると、祭りの様子もわかって楽しいと思います。他のお祭りを紹介するのもいいと思います。

▶ 自分の国の行事や地域の行事について話します。このとき、ペアよりもグループになって話したほうが、いろいろなところの話が聞けて楽しくなると思います。もし、同じ国からの学生が多くても、異なる出身地とグループになることもできます。紹介する際、自分で調べた語彙が「マイボキャブラリー」となったらいいですね。また、紹介するとき、写真なども使用すると、聞いている人に分かりやすくなります。

ST2 贈り物の習慣

できること：贈り物の習慣や相手の好みに配慮して、プレゼントの相談をすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：

アンナさんの誕生日プレゼントをあげるために、友達と一緒に買い物をすることにしました。ワンさんは今、待ち合わせ場所で友達が来るのを待っています。

1



コマイラスト：これから友達と一緒にアンナさんの誕生日プレゼントを買います。ワンさんは何をあげようかと一人で考えています。

ワンさんが一人で考えているというところに焦点をあてて、考えてもらおうと思います。ここではワンさんが自分自身の行動について考えているので、意向形が用いられています。

学習項目 ～かな V ようかな

言ってみよう 別冊1

練習1は「V意向形かな」の練習です。自分がすることについて考えるとき「V意向形+かな」になります。練習2は「普通形かな」の練習です。「普通形かな」のときは、名詞とな形容詞が接続する場合には、「だ」がつかないことに注意を向けてください。

言ってみよう 本冊1

臨場感を出すために、デパートのフロアガイドや売り場のイラストなどがあると思います。言い方も大切ですね。ただぶっきらぼうに言う練習をするのではなく、一人で考え

ているということがわかるように表情や表現方法を工夫できるといいですね。

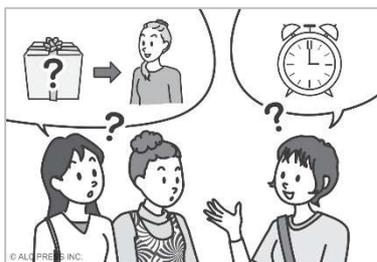
チャレンジ！

状況イラスト：

アンナさんの誕生日プレゼントをあげるために、ワンさん、パクさん、山口さんは一緒にショッピングセンターの中でプレゼントを探しています。



2



コマイラスト：ワンさん、山口さん、パクさんはアンナさんにあげる誕生日プレゼントを探しています。3人は何をあげたらいいか悩んでいます。パクさんがプレゼントの候補として、目覚まし時計を提案しています。

学習項目 N なんかどうですか

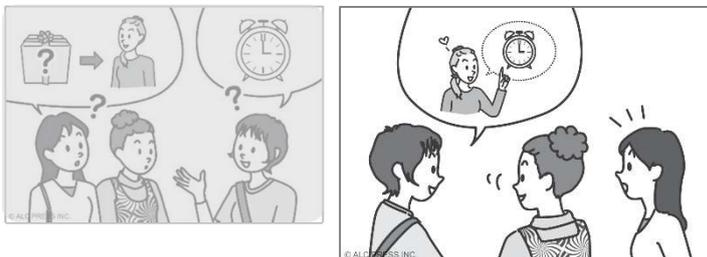
言ってみよう 本冊 2

本冊2の会話は友達同士でプレゼントの相談をしている内容です。最初のAの「～から」(理由)の接続は、「普通形+から」です。マークがあるので、相手の相談を受けて、素敵なプレゼントの提案ができるといいですね。

④の「店長に子どもが生まれました」の「に」は理解が難しい学習者もいるかもしれません。「店長の家新しい家族、子どもが来ました(増えました)」という意味だと確認できるといいですね。

チャレンジ！

3



コマイラスト：パクさんがアンナさんへのプレゼントとして目覚まし時計を提案しました。その理由として、アンナさんが目覚まし時計を欲しがっていたと山口さんとワンさんに話しています。ワンさんはその話を聞いて、少しびっくりしています。

ここは、【チャレンジ！】2から続いている会話なので、【チャレンジ！】2から始めると、会話の流れがよく分かります。「～がほしい」「～たい」は初級5課で提出されていますが、どんなところが異なるのか、学習者自身が気付けるように教師が促せると、学習者自身で学習項目の違いの発見につながります。

学習項目 イ/ナ形容詞がっています

言ってみよう 別冊 3

「～がっています」は動詞です。「イ A/ナ A」の前の「が」「は」は「を」になることに注意を促してください。

言ってみよう 本冊 3

1つ目のAさんが「プレゼント、何がいいかな (あ)」と言っています。言ってみよう1では、一人で考えているときの「～かな (あ)」を学習しました。ここでは「プレゼント、何がいいと思う？」という意味で、「プレゼント、何がいいかな (あ)」と言っています。

チャレンジ！

4



コマイラスト：パクさんがアンナさんへのプレゼントとして目覚まし時計を提案して、山口さんも同意したとき、ワンさんはその話を聞いて、少しびっくりしています。そして、中国では、人への贈り物として、時計を贈らないこととその理由について話しています。しかし、山口さんが日本では大丈夫ということと話すと、ワンさんは安心し、3人で目覚まし時計を贈ることにしました。

山口さんに中国では時計を贈ってはいけないのかと聞かれたワンさんが、「時計」と「終わり」の発音が同じと話している部分が理由であることに注目してもらえるように、【チャレンジ！】を進めていってください。

学習項目 ～からです

言ってみよう 別冊 4

ここでは、二文での練習になっています。1文目である事象をいい、2文目で、その事象の理由を説明するときに「～からです」を使います。すぐに2文がスラスラ言えなさそうな場合は、最初に「～からです」の接続について口ならしをしてから、2文で言う練習をするといいいと思います。

言ってみよう 本冊 4

学習者に合わせて、例の会話以外にも、会話の前後を考えることも練習につながります。

やってみよう

ST2の「できること」は「贈り物の習慣や相手の好みに配慮して、プレゼントの相談をする」です。

🔊 音声を聞いたあとで、答えを確認しますが、答えを確認するだけではなく、二人がプレゼントの相談をするときに、どんな日本語を用いていたかに注目してもらってください。

▶ ロールプレイをする前に、誰に何のためのプレゼントをあげるか決めてから、ロールプレイを始めるようにしてください。ロールプレイでは、お店やフロアを探すところから会話をスタートするといいです。誕生日が近いクラスメイトやもうすぐ帰国するクラスメイトのプレゼント選びを設定に入れてロールプレイをするのもいいですね。

できる！

この課の行動目標は、「周りの日本人に自分の国についてより知ってもらうために、自分の国の行事や習慣について説明することができる」です。

日本で生活をしている中で、自分の国の行事や習慣などについて、周りの人に紹介したり聞かれたりすることも多いと思います。そのようなやり取りを通じて、周りの人とつながってってもらいたいと思います。国ではそのような行事や習慣についてあまり意識しなかった学習者もいるかもしれません。他の人に紹介する機会を通じて、自文化への理解にもつながると思います。紹介する行事は伝統行事に限らなくてもいいです。国際映画祭や野外音楽フェス、コーヒーフェスなど、それぞれ住んだことがある町の新しいイベントを紹介し合うのもいいですね。行事ではなく、食文化など習慣の紹介もおもしろいと思います。

以下、【できる！】の実践例をご紹介します。

【できる！】実践例

- ・国、出身地の行事紹介。さまざまな機会や形で発表する。

ポスターセッションを行う

ビジターセッションで発表する

元担当教師を招いて発表する

→発表原稿を冊子にしたり、padlet にアップしたりして読み合う

地域の国際交流フェスタでポスターと原稿を展示する



学習者が紹介したい行事についてどう表現したらいいか困ったとき、教師側にその知識がないために、どうアドバイスしたらいいかわからないこともあるかもしれません。そのようなときは原稿を書き進める中で、丁寧に学習者の話を聞いていってみましょう。やり取りの中で「伝えたいことば」が見つかります。

発表をするとき、原稿を書いて終わり！ということがありませんか。原稿を書くのは「発表の準備」です。原稿を書いたあと、漢字の読み方を確認したり、聞き手を意識して読む練習をしたりするよう、学習者に促してください。（学習者が自分で必要性に気が付けるように、教師から問いかけてみるのもいいと思います）



発表のあとに、このようなシートを用いて、学習者は振り返りをしています。自己チェックの部分とクラスメイトの発表の部分があります。

自己チェックの項目は一緒にクラスを担当している先生方で相談しながら決められるといいですね。また、学習者が「今回の発表の目標」を決めて、それを自己評価に反映してもらっています。

クラスメイトの発表の後、お互いにコメントを書いて交換しています。もらったコメントは次の発表に繋がられるようにアドバイスをしています。

このような振り返りが次の発表に繋がることを考えています。次の発表の前に見られるように、自己チェックシートやクラスメイトからもらったコメントシートはポートフォリオに入れています。

発表振り返りシート例

『できる日本語 初中級』第14課
 発表振り返り

名前: _____

紹介した行事 _____

1 発表してどうでしたか。

① 発表の原稿はよく準備できましたか。	5	4	3	2	1
② わかりやすい言葉で発表できましたか。	5	4	3	2	1
③ よく聞こえるように大きい声で発表できましたか。	5	4	3	2	1
④ 聞き取りやすい発音で発表できましたか。	5	4	3	2	1
⑤ 聞く人の顔を見ながら発表できましたか。	5	4	3	2	1
⑥ クラスメイトの質問に答えられましたか。	5	4	3	2	1

★ 発表はどうでしたか。自由に書いてください。

2 クラスメイトの発表を聞くとき、どうでしたか。

① 発表のあとで質問しましたか。	5	4	3	2	1
② 感想を言いましたか。	5	4	3	2	1

★ クラスメイトの発表を聞いて…

どうでしたか。どう思いましたか。発表を聞いてわかったことは何ですか。
 誰の発表がおもしろかったですか。それはどうしてですか。

クラスメイトの発表に対する評価シート例

第14課できる！

名前: _____

発表者の名前	さん
行事・イベント	
わかったこと	
発表者へメッセージ	

話読聞書

14 課の【話読聞書】のテーマは「世界に紹介したい私の国の人」です。

授業では、まずは教室全体に「世界に紹介したいと思う、自分の国の人がいるか」と問いかけ、話してもらいます。きっと学習者の中から、いろいろな人の名前が挙がってくると思います。誰か一人の人を取り上げて、その人がどんな人かを知るために、質問をするようにクラスメイトに促してください。この質問はあとで、グループ内で話を聞くときの参考になります。

3, 4 人のグループに分かれて、「紹介したい私国の人」を紹介し合います。スマホなどで紹介したい人の写真を見せながら話をするのもいいですね。

グループで話したあと、自分が紹介した人について書いて、クラスの「私が世界に紹介したい人」の冊子を作成したり、padlet で共有したりするといいです。書くことで、日本語の正確性に意識を向けることにつながります。また、他のグループで紹介された人についても知ることができます。